

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(ホームページ掲載日:平成28年10月6日)

開催日及び場所		平成28年9月26日(月) 関東森林管理局 2階小会議室		
委員		紺 正行(委員長・弁護士) 川野 由夫(税理士) 関口 雅弘(ジャーナリスト)		
審議対象期間		平成28年4月1日～6月30日		
審議対象案件		340件	うち、1者応札案件 120件	
		契約の相手方が公益社団法人等の案件 3件		
抽出案件		9件	うち、1者応札案件 2件	
		(抽出率 2.6%)		
		契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
		(抽出率 0.0%)		
抽出案件内訳	工事	一般競争	4件	うち 1者応札 0件
			契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	該当なし	
		公募型指名競争	該当なし	
		工事希望型競争	該当なし	
	その他の指名競争	該当なし		
	随意契約	0件		
	業務	一般競争	2件	うち、1者応札案件 0件
			契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	該当なし	
		公募型競争	該当なし	
		簡易公募型競争	該当なし	
		その他の指名競争	該当なし	
		随意契約	該当なし	
	公募型プロポーザル	該当なし		
簡易公募型プロポーザル	該当なし			
標準型プロポーザル	該当なし			
その他の随意契約	0件			
物品・役務等	一般競争	3件	うち、1者応札案件 2件	
		契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件		
	指名競争	該当なし		
	随意契約(企画競争・公募)	該当なし		
(特記事項)	0件			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答等	
	<p>○A019の治山工事について、入札公告から入札に至るまでの期間を短縮した理由は何か。</p>		<p>○発注署において、入札を早期に行うためである。通常、競争参加資格確認申請書等の提出期限の翌日から起算して7日以内に入札参加申請者に参加資格の有無を通知するところを、2日間に短縮した。入札参加申請者への通知は、電子入札システムを通して行っており、期間短縮による問題はない。</p>	
	<p>○落札率が高くなった原因として、工事に係る資材単価や歩掛が公表されていること、また、特殊な工種を含んでいないことから、予定価格に近い積算が可能であったとの分析となっている。このことは、資材単価や労務単価を固定していると捉えてよいのか、それとも資材の実勢単価や業者の自助努力といったものが予定価格に反映される仕組みとなっているのか。</p>		<p>○森林管理局のホームページで公表している資材単価や労務単価は、発注者側の積算に使用している単価であって、入札業者の積算を制約するものではない。積算因子を公表しているからといって、必ずしも落札率が100%近くになるとは限らず、各業者において、資材調達工夫等が予定価格の積算に反映される。</p>	
<p>○一方、情報を公表することで、かえって応札額が高止まり、競争が働きづらいのではないか。また、特殊な工種を含んでいないのであれば、技術提案を評価する総合評価ではなく、価格競争がシンプルでよいのではないか。もちろん、良い業者を育てていくという趣旨は理解できるが。</p>		<p>○電子入札を採用しているため、どの業者がどのくらいで応札したのかはわからない仕組みとなっている。技術提案においては、これまでの実績や社員に対する教育、安全対策等を採点し、総合的に評価している。</p>		

	<p>○A035の治山工事について、A019の案件でもあったように、いろいろ情報が得られて積算できるのであれば、ほぼ予定価格の予想ができると思うが、それにもかかわらず、6者が予定価格をオーバーしている。このことについては、どのように考えるか。</p> <p>○工事と性質は異なり、調査設計では、各企業の自助努力等で予定価格よりだいぶ低い応札となる傾向があり、(調査基準価格を)下回りすぎて問題になることもある。 工事と調査設計では、だいぶ様相が異なるが、どのように考えるか。</p>	<p>○結果として6者は予定価格をオーバーしたが、各社の応札額をみると、それほど差はなく、狭い範囲での競争となっており、積算因子を公表しているからとも言える。契約リストにあるように94%とか、95%の案件もあり、平均では95.5%という結果であり、必ずしも100%近くになるわけではない。</p> <p>○調査設計は、仕事があれば全国どこへでも行き実施するが、工事の場合は、工事現場へ長期間通うということもあり、(各業者が)得意とする地域とそうでない地域が生じる。 6者が予定価格をオーバーしていることについては、分析が足りないところもあるが、本体価格は全社ほぼ同じ見積もりとなっているので、各社とも工事内容を理解した上で応札しているものと考え。仮設工や一般管理費に各業者の差が生じている。</p>
	<p>○治山工事や林道工事において落札率が高くなった原因分析が、どれも同じものとなっている。 各契約担当官が実際に分析するとすると、なかなか難しいと思うが、例えば、落札業者と契約を締結する際、情報交換のようなかたちで、応札の背景を聞き取るなどの工夫はできないか。</p>	<p>○原因の分析は、各森林管理署等に作成を依頼しており、その際、過去の委員会での分析例を参考添付している。 このため各署等の分析が、参考として例示した分析と同様の記述となっている。 今後、個別の原因について更に分析の工夫を検討したい。</p>
<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○B023の林道工事とA019の治山工事は、同一署での発注であり、時点の違いはあるが、応札業者は同じ顔ぶれとなっている。 総合評価の加算点算出表を比較してみると、同一業者の同じ項目であるにもかかわらず、治山工事と林道工事で点数が異なるものがある。 このことについては疑問があるので、調査・再点検の上、次回の委員会で報告していただきたい。</p>	<p>○調査の上、次回の委員会で結果を報告したい。</p>
	<p>○D005のコンサルタント等業務において、低入札となり辞退した業者の応札額は、調査基準価格を少し下回っただけである。今回の場合は、低入札調査を受けて受注しても問題ないように感じるが、どう分析するか。</p> <p>○D005のコンサルタント業務とE001のコンサルタント業務の調査基準価格の設定の違いは何か。 ※E001については、予定価格が100万円を超え1000万円未満なので、正確には「品質確保基準価格」となる。</p>	<p>○辞退した業者は、十分に業務を履行できる資質のある者であり、低入札調査を行っても問題はなかったと推察する。 しかしながら、調査に当たっては追加資料を提出する必要があり、かつ、受注に当たっては配置予定技術者とは別に諸要件を満たす担当技術者を配置しなければならず、余計に経費がかかるリスクを考えると、辞退という選択になったのではないかと思う。 なお、低入札の場合には、入札をいったん保留するが、この時点では予定価格とどの程度開きがあるかは業者側には提示されない。</p> <p>○同じコンサルタント等業務でも、予定価格の額に応じて調査基準価格が変わってくる。ある一定の金額以上で、一律に同じパーセンテージで設定されるのではなく、予定価格(分母)の違いによって調査基準価格が変わる。</p>

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○0004の森林環境保全整備事業の応札者について、2者の申請があったものの、うち1者が全省庁統一資格の更新手続き中であり、入札当日まで更新できず、結果として1者応札になったようだが、発注者側でそのことがわかっていれば、入札時期をずらすとか何か手立てができたのではないか。</p>	<p>○(造林・生産事業の)全省庁統一資格は3年間有効であり、今年は更新年であった。当該業者は、定期審査期間内に申請しておらず、随時審査となったため、入札に間に合わないことになった。 随時審査については、資格の付与に時間がかかるため、資格付与を希望する場合には、必ず定期審査期間内に申請を行うよう、各業者にはお知らせをしていた。</p>
	<p>○P080の林道維持修繕業務(除草工)について、落札率が極端に低くなっているが、これでは適正な労賃の支払いができないのではないか。参考資料にある労務単価を採用して積算しているのではないか。 ダンピングを防止する話と逆行しており、健全な競争とは言えないのではないか。</p>	<p>○今回競争した2者について、過去3年間の契約実績を調べてみたところ、本事業実施地域での受注に強い意欲を持ち、価格競争が熾烈となっている。 本件のように採算度外視で受注している一方で、他の事業では、60%~80%の落札率で応札しているため、本件は特殊な事例と言える。 なお、予定価格の積算について、改めてチェックをしたが、適正に算出されていることを確認した。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	平成28年 9月26日(月) 関東森林管理局2階小会議室			
委員	紺 正行(委員長・弁護士) 川野由夫(税理士) 関口雅弘(ジャーナリスト)			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日
	H . .			H . .
	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				